



平成28年度 農業生産 販売額 目標大幅達成



多良間村は、
39番目の

「日本で最も美しい村」

連合に加盟
しています。



the most beautiful
villages
in japan



多良間村農業生産者大会

6月1日(木)、多良間村農業生産者大会がコミュニティー施設で開催された。

平成28年度の農業生産額は目標の14億円を大きく上回る16億6629万円を達成。

新たな目標として18億円を設定し、各生産者団体が目標達成に向けて決意表明した。

伊良皆村長は「史上初の輝かしい実績を残せたのは、生産農家一人ひとりの汗の結晶により積み上げた結果であり、『農業の発展なくして多良間村の発展はない』と考えている。さとうきびを中心に畜産、葉たばこ、かぼちゃを推進しながら、他にも高収益作物を取り入れていく必要がある。農業基盤整備や農業用水の確保、防潮・防風対策などを推進したい」と挨拶した。

大会に先立ってパレードが行われ、「農業生産販売18億円、早期必達!!」と書かれた横断幕を手に、伊良皆村長ほか生産農家や関係者が村内を歩き、のぼりを立てたトラクターなど農業用機械が続き、村民に農業の振興を呼びかけた。

農業祖生産額の推移(過去10年)

単位：千円

年度	さとうきび	葉たばこ	かぼちゃ	肉用牛	合計
平19	581,596	101,822	6,190	558,972	1,248,580
平20	542,297	83,990	11,505	445,452	1,083,244
平21	602,221	106,501	24,138	414,141	1,147,001
平22	519,700	99,225	19,193	461,321	1,099,439
平23	316,546	31,772	9,266	453,590	811,174
平24	493,918	86,564	15,648	472,904	1,069,034
平25	458,111	74,533	9,425	584,542	1,126,611
平26	477,537	85,695	9,085	670,879	1,243,196
平27	433,334	63,367	5,597	768,803	1,271,101
平28	583,896	73,671	8,868	999,864	1,666,299



ふるさと納税寄付のお礼

6月のふるさと納税寄付
ありがとうございました。

- ・高田 直昭 様 京都府在 「自然環境整備コース」
- ・高川 智行 様 沖縄市在 「自然環境整備コース」

伊良皆光夫氏に 当選証書

多良間村選挙管理委員会は、任期満了にともなう多良間村長選挙（6月25日）で2期目の当選を果たした伊良皆光夫氏に当選証書を付与した。

当選証書を受け取った伊良皆氏は「公約実現には、村民一人ひとりの力と議員の皆様の理解がなければできない」と強調。「産業や人口減少、子育て、福祉問題を解決するためにも村民、職員、議員の力で村の発展につなげていきましょう」と呼びかけた。

多良間村長選挙は6月25日（日）に投票が行われ。



豊見山委員長（右）から当選証書を受け取る伊良皆氏（左）

伊良皆光夫氏 422票
 下地昌明氏 375票
 投票率は97・80%だった。

つつが虫病に注意

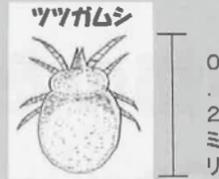
ツツガムシは、草むらにいます！！

被害は、初夏（5～6月）と秋（10～12月）に多い
 草刈り、農作業、釣りのときに刺されることが多い

予防

ツツガムシに刺されないために
 草むら（畑・海岸）に入るときは

1. 長袖、長ズボン、手袋、長靴を着用する。
2. 虫除け剤を使う
3. 草むらで座らない（座る場合は敷物を使う）
4. 草むらで脱いだ衣服を放置しない。
5. 入った後はすぐに必ず入浴（シャワー）する
6. 衣服を使い回さない。その日で洗濯する。



- ・とても小さなダニ
- ・幼虫だけが刺す
- ・幼虫は初夏や秋に草むらに出てくる
- ・刺されてもかゆみ・痛みがない

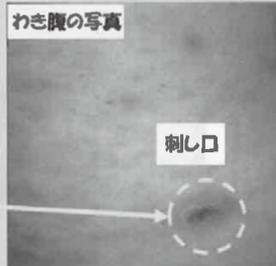
早期発見・早期診断

症状

刺されてから5～14日後に症状出現

- ・ 38～40度の高熱
- ・ 全身性の発疹
- ・ 体のどこかに刺し口（1～2ヶ所）がある

● 刺し口の特徴 ●
 かさぶた、周囲に赤み（1cm前後の大きさ）



※つつが虫病は適切な治療で治りますが、遅れると重症になることもあります。

※つつが虫病に、一度ならず、またかかる人もいます。

※「熱が長引く」「草地に入った」「体に赤い発疹」「刺し口！？」

→ 早く医療機関を受診しましょう。

多良間村慰霊祭



小学校を代表して浜川藍香さんが平和宣言



「忘れまい!あの沖縄戦を」「平和を築くのは私たちだ」中学生のメッセージ

沖縄戦の終結から72年目を迎える「慰霊の日」の6月23日(金)、多良間村慰霊の塔前で、慰霊祭が執り行われた。

伊良皆村長をはじめ遺族会や来賓、児童、生徒らが出席し、戦争で犠牲になった人たちの冥福を祈ると共に、二度と悲惨な戦争を繰り返さないとの誓いを新たにしました。

伊良皆村長は、「私達は、先の大戦から学び取った多くの教訓を忘れることなく、世界の恒久平和を願うとともに、これまで先人たちが築き上げてきた歴史、文化、人々の絆を糧としながら、全村民が『豊で幸せな村づくり』に向け、力強く歩んでいくことを、ここに誓います」と述べた。



1

夏の青少年育成県民運動 (7月1日から8月31日までの2ヶ月間)

7月は楽しい地域行事や夏休みもあることから、青少年にとって自主活動や体験活動など、のびのびと創造豊かな活動の出来る絶好の機会が増えます。しかし、その反面、生活リズムがゆるみ予期せぬ事件・事故に遭遇しやすい時期でもあります。楽しい夏休みを迎えさせるためにも次の事項を再確認し、子ども達を犯罪から守りましょう。

- 家庭において、子どもたちとの対話を欠かさないようにしましょう
- 子どもたち自身に善悪のけじめをつけさせ、責任を持たせるようにしましょう
- 家庭は最も身近な社会、家庭での“決まり”を守らせましょう
- 人の子も自分の子と同様、愛の一声で非行から守ってあげましょう
- 「こころの居場所」となる心の安まる場所や関係をつくりましょう

2

未成年者喫煙防止強化月間 (7月1日から7月31日まで)

喫煙は成長期の子どもたちにとって、常習化して習慣となる傾向があります。喫煙が習慣化すると脳の前頭葉の発達が大きく阻害され、病気を進行させるなど健康面で良いことは何もありません。また、健康面の影響だけではなく、タバコによって不良グループとの繋がりができ、やがては非行に走ってしまうということもめずらしくありません。

7月は「未成年者喫煙防止強化月間」です。次代を担う子どもたちに喫煙の害を教え、しのびよる甘い誘いをきっぱりと断る勇気を持たせましょう。

20歳未満の人がタバコを吸うことも、大人が未成年にタバコを勧める行為も法律で禁じられています。

人権擁護委員の日で 啓発活動

「人権擁護委員の日」の6月1日(木)、多良間村人権擁護委員の垣花奈緒子さん、手登根健市さんがAコープたらま店前で、人権擁護街頭啓発活動を行った。

お二人は刺すような日差しの中、訪れる買い物客にチラシなどを配付し、特設相談所の来所を呼びかけた。

翌2日には、特設相談所が開設された。

人権擁護委員は近隣とのトラブル、家庭内のもめごと、いじめ、体罰に関する問題、離婚、遺言、借地、借家などの相談に応じている。



組織の力で中小企業を活性化! ～中小企業組合制度について～

沖縄県は99%以上が中小企業で占められています。特に本県の場合、零細企業が多く厳しい経営状況にある中小企業が多いのが実情です。一人一人の力は弱くても、他社と連携し組合を設立することで協同の力を持つことが出来れば、この厳しい状況を乗り越え、競争に打ち勝つことも可能です。また近年は、学生や主婦等の個人が、創業や雇用機会の確保を目的として設立する企業組合制度も注目されています。あなたも中小企業組合を設立してみませんか？

【主な組合設立のメリット】

- ①取引条件の改善、販売促進、資金調達の円滑化、情報・技術・人材・マーケティング等の充実、生産性の向上等により経営の近代化・合理化を図ることが出来ます。
- ②沖縄県では中小企業組合のための県単融資制度(組織強化育成資金)を設けており、低利で融資を受けることが出来ます。
- ③中小企業者の個々の意見や要望事項を組合でまとめることにより、国等の施策に反映させることが出来るとともに、組合を通じてより多くの中小企業施策を利用することが可能になります。

組合を設立したいと考えている方は、お気軽にご相談下さい

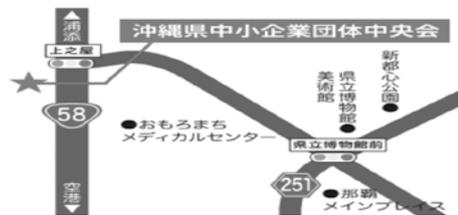


沖縄県中小企業団体中央会

那覇市字上之屋303番地8

TEL098-860-2525 FAX098-862-2526

<http://www.ocnet.or.jp>



平成29年度「道路ふれあい月間」

- 8月1日～8月31日まで
- 推進標語

「この道で おはよう さよなら ありがとう」

「道路ふれあい月間」は、道路を利用する村民の皆さんに、道路とふれあい、道路の役割や重要性を改めて認識していただき、道路を常に広く、美しく、安全に使用していただくことを推進する月間です。

普段から利用している道路を身近に感じ、ポイ捨てや交通の妨げになるような違法行為をしないようにしましょう。

多良間小学校6年生 ジョブシャドウイング

6月15日(木)、多良間小学校6年生は、沖縄本島で実施した修学旅行の中でジョブシャドウイングを体験しました。

ジョブシャドウイングとは、働く大人の後ろを「影」のようについてまわり、働く様子を間近で「観察する」活動のことです。人の「仕事」を見るのではなく、仕事をしている「人」を見る。仕事をしている大人を、じっくり観察することです。

今年度は10企業に6年生12名が体験しました。

那覇海上保安部には奥平偉翔くんが一人で体験。海上保安部の担当者によると、「偉翔くんは、最初緊張している様子だったが、挨拶等も元気よく行うことができ、また仕事に対する関心が高く、何度も質問していたことから、今後の仕事に関する意欲向上に繋がったのではないだろうか」とのことでした。



さとうきび農家の皆様

宮古地区さとうきび技術員会

「さとうきび黒穂病にご注意！」

【黒穂病とは？】

- ・さとうきびの先端から黒いカビの胞子がついた穂(黒穂)が出てくる病気。
- ・カビの胞子が風雨で飛散し、周囲のさとうきびに伝染する。
- ・5～6月、10～11月に多く発生する。
- ・新植での発病は少ないが、株出回数が多くなるにつれ、多発する。
- ・感染したら枯死する。

※宮古地域において過去に大発生し、大幅に減収した例がある。

【黒穂病が発生したら？】

- ・発病株は胞子が散らないよう、ビニールをかぶせて抜き取り、畑の外で処分する。
 - ・黒穂が出る前に抜き取ると、効果大きい。
- ※黒穂病に罹った株はススキのように細くなり、高く伸びる。
- ・発病株が多い畑は更新する。

【黒穂病を出さないためには？】

- ・植付用の苗は新植の畑から取る。
- ・黒穂病が発生した畑からは絶対に採苗しない。
- ・発病したものは、別の品種を植える。
- ・何度も株出しをしている畑は、病気が発生していないか、特に注意する。



黒穂病に罹ったさとうきび



ビニール袋を被せて抜き取る

お問い合わせ

- ・沖縄県宮古農林水産振興センター農業改良普及課多良間駐在
- ・多良間村産業経済課
- ・沖縄県病害虫防除技術センター宮古駐在
- ・沖縄県農業研究センター宮古島支所

TEL 79-2503

TEL 79-2503

TEL 73-2634

TEL 72-3148

熱中症予防のために

暑さを避ける

室内では・・・

- ▶ 扇風機やエアコンで温度を調節
- ▶ 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- ▶ 室温をこまめに確認
- ▶ WBGT値※も参考に

外出時には・・・

- ▶ 日傘や帽子の着用
- ▶ 日陰の利用、こまめな休憩
- ▶ 天気のよい日は、日中の外出をできるだけ控える

からだの蓄熱を避けるために

- ▶ 通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
- ▶ 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

※WBGT値：気温、湿度、輻射（放射）熱から算出される暑さの指数
 運動や作業の度合いに応じた基準値が定められています。
 環境省のホームページ（熱中症予防情報サイト）に、観測値と予想値が掲載されています。

こまめに水分を補給する

室内でも、外出時でも、のどの渴きを感じなくても、こまめに水分・塩分、経口補水液※などを補給する

※ 水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの



「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

熱中症の症状

- めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
 - 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う
- 重症になると、
- 返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い

詳しくは、厚生労働省ホームページ「熱中症関連情報」をご覧ください。

厚生労働省 熱中症

検索



村長のたうけーむぬ中む。(ひとりごと)

去った6月25日執行の多良間村長選挙におきましては、村民の絶大なるご支持・ご支援を賜り誠にありがとうございます。

村民の皆様のおかげで心からの祝福を受け、あらためて村長としての責任の重大さに、身の引き締まる思いであります。

私は、選挙戦をとおして「基本理念」「基本方針」「基本政策」を掲げて村民の皆様とお約束をいたしました。それは、産業の振興による仕事づくり、教育の充実による人づくり、Uイターン・定住対策、少子化対策、子育て支援、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる健康な村づくり、安全・安心で快適な暮らしやすい環境の整備、医療・福祉の充実等であり、これらの公約の実現に向けて村民の皆様、議員の皆様、職員の皆さんと一生懸命励んでいきたい、と決意をしています。

私が、職員の皆さんに常々申

し上げていることは「物事を進める上で出来ない理由を考えるのではなく、どうしたら可能になるかを考えてほしい」ということです。常に変化し続ける社会や経済的環境に目を向け、今、村民から何を求められているか、それを果たすにはどうしたら良いかということ、これまでの慣例にとらわれることなく考えてほしい、物事の視点を考えてみてほしいということ。見えていない角度を変えてみる。このことは進化につながることであり、現場を自分の目で見て、新しいアイデアを提案して欲しい。そしてそれをしっかり議論し、良いと判断したら挑戦してみようではありませんか。失敗を恐れてはなりません。「何もやらずにいるよりも、失敗してもいい、挑戦してみてもいい」。進歩は失敗から生まれます。勇気と主体性をもって諸課題に取り組んで頂きたい。

今、私たちは自らの自由意志によって、富める者も貧しき者も平等に生きる権利を保障されています。この現代に連綿と続く過程には、たくさんの先人が汗を流し、死にもぐるいで私たちの生活を守ろうとしてきました。まさにその歴史の集大成だと思えます。いま一度私たちは、これまでの当たり前をもう一度見直して、次の世代に、そして今の時代に本当に求められている行政の役割は何なのか、考え直し、築きあげていくことが必要ではないでしょうか。そのためには、デスクワークばかりでなく、行動し実践することが重要であります。

行政の仕事は、ともすれば「前例踏襲」とよく批判されます。確かにこれまでの議論、経緯を踏まえ、連続性のもとで継続的に行政運営を行っていくことも大事なことです。しかし、最も大事なことは「村民の皆様の暮らし

を守る」ことでもあります。村民の暮らしが守られていないところに、行政の前例踏襲や内部の理屈は通用しません。行政がこれからの村づくりにおいてどんな役割が求められているのか、村民の皆様とともに考え直し、創りあげていきたいと思えます。

村民の皆様、議会議員の皆様、職員の皆さん今後ともご指導・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。そして、先人の皆様も夢見てきた「ゆかり村」実現に向けて、邁進しようではありませんか。



多良間駐在所からのお知らせ

○自転車の盗難発生

6月に自転車の盗難が2件発生しています。自転車を駐輪するときは鍵をかけるなど盗難対策を心がけましょう。

駐在所で自転車の防犯登録を行っています。防犯登録をすれば、5年間は登録され、自転車を放置された場合などに、警察から連絡することが可能になり、持ち主に返すことが出来ます。

○車上荒らし発生

空港駐車場に駐車中の車内が荒らされ、現金などが盗まれました。

貴重品は車内に置かない、荷台にも荷物を置いたままにしないなど、泥棒の被害に遭わないように対策しましょう。

○ハブクラゲ発生注意

沖縄県には、猛毒を持つハブクラゲが生息し、一年のうち6月初め頃から人体へ影響を及ぼす大きさに急激に成長します。この時期は、海水浴、マリンスノー等で海への出入りが多く、刺症被害も多く発生しています。

平成28年は、海洋危険生物による刺咬症被害254件のうち、145件(約57%)がハブクラゲによるものです。

ハブクラゲ刺症を未然に防ぐには

- ①海水浴をする場合は肌の露出を避け、ハブクラゲ侵入防止ネットの内側で泳ぎましょう。
- ②海に出かける際には、酢(食酢)を持参しましょう。
ハブクラゲに刺された場合は、落ち着いて対処し
- ①まず海から上がり、激しい動きをしないで、近くにいる人に助けを求めましょう。
- ②刺された部分はこすらずに、酢(食酢)をたっぷりかけて触れ取り除いた後、冷水で冷やしましょう。
- ③応急処置をし、医療機関で治療を受けるようにしましょう。

自動車運転免許更新についてのお知らせ

年齢が70歳未満の方で、次回、多良間村での運転免許講習日(11月28日予定)までに免許の有効期限が切れる方は、宮古島または沖縄本島で免許更新してください。

1. 多良間村で運転免許の更新をする場合

- ①免許更新時期、誕生日前6ヶ月以内に講習を受けることが出来ます。
今後は年に2回、5月後半と11月後半に講習を行います。

誕生日が12月から5月末までの方は更新前の11月の講習を受ける
誕生日が6月から11月末までの方は更新前の5月の講習を受ける

- ②免許証の更新時期に多良間駐在所で運転免許の更新手続きを行う。
- ③後日、新しい免許証を受け取る。

2. 宮古島・沖縄本島で運転免許の更新をする場合

- ①更新時期(誕生日の前後1ヶ月)に宮古島市の安全運転学校宮古分校または豊見城市の沖縄県運転免許センターへ行き、更新手続き及び講習を受ける。
- ②その日に新しい免許証を受け取る。

- ※あなたの運転免許証の有効期間を確認しましょう。
- ・70歳以上の方は高齢者講習を受ける必要があります。

分からない事があれば多良間駐在所までお尋ねください。



6月

世帯数と人口
(平成29年6月末現在)

総世帯数 528 (-3)
総人口 1,185 (-4)
男 639 女 546

区別	人口	世帯数
土原	59(0)	29(0)
天津川	94(0)	40(0)
川良	100(0)	49(0)
宮良	75(0)	31(0)
嶺間	145(0)	68(0)
大道	196(0)	98(0)
大木	299(-3)	123(-2)
大吉	213(-1)	87(-1)
水納	4(0)	3(0)
出生	0	死亡 1
転入	0	転出 3

()内は前月比

おくやみ

宇塩川270番地 桃原 ヨシ (97歳) 平成29年6月7日

緊急ダイヤル

火災・救急 ワンクッションコール	119番
警察官派出所 (79-2010)	110番
急病人 多良間診療所	79-2101
歯科診療所医師	79-2162
停電 沖縄電力多良間営業所	79-2147
断水 役場住民福祉課	79-2623
家畜疾病 役場産業経済課	79-2503
ガス専用JA多良間	090-6859-2355

救急に関すること
(6月)

- ◆時間外救急受付 23件
 - ◆救急車出動 2件
 - ◆ヘリ搬送 1件
- 火災・救急ワンクッションコール:
119
- ※緊急の場合以外診療時間内での受診を心がけよう

広報たらま寄附金のお礼

砂川 守之丞様(西原町在) 浦崎 三七子様(東京都在)
伊良皆 秀安様(西原町在) 大城 剛様(埼玉県在) 下地 進様(八重瀬町在)

ありがとうございました。



山口畜産より
寄付金

6月19日(月)、肉用牛の購買者で山形県の山口畜産、山口登社長は多良間村の畜産振興に役立てて欲しいと寄付金を贈呈した。

伊良皆村長は「毎年多良間のために大きな心遣いと協力をいただき感謝している、多良間の畜産振興のために役立てたい、今後も畜産振興、農家の指導をお願いしたい」と感謝した。



今年もたくさんシユシヤが鳥中の木にとまって「シヤウシヤウシヤウ」と鳴いているが、今でも食べたいと思う人はまだいるのだろうか。

なかまさとや 仲間智也

編集後記

*この時期はセミの鳴き声で目が覚める。

多良間で見られるセミは、4月頃からガラスビ(イワサキクサゼミ)5月にはピサミガ(ミヤコニイニイ)そして6月に入りシユシヤ(クマゼミ)と徐々に、体も鳴き声も大きくなっていく。

シユシヤが鳴き始めると、いよいよ夏本番だなと感じる。

昔はシユシヤを食べていたという話を先輩からよく聞いた。成虫を捕まえて火で焼いて食べたり、ビグ(幼虫)から羽化してすぐなら柔らかいのでそのまま食べていたとのこと。

今年もたくさんシユシヤが鳥中の木にとまって「シヤウシヤウシヤウ」と鳴いているが、今でも食べたいと思う人はまだいるのだろうか。